Rotary

ガバナー月信

CREATE LASTING IMPACT

Rotary International District 2550 tochigi　2026.11.1 発行

CONTENTS

01 ガバナーメッセージ
ロータリー財団月間に寄せて

02 RLIパートⅠ
開催報告

03 活性化セミナー
開催報告

04 ガバナー公式訪問報告
黒磯RC/鹿沼RC
足利わたらせRC/宇都宮RC
日光RC

05 奉仕プロジェクト報告
鹿沼RC

06 奉仕プロジェクト報告
宇都宮RC

07 新入会員

08 お知らせ

09 2026年9月末
会員数報告

10 2026-27年度
地区大会のご案内

R.I.D 2550 tochigi
Facebook QR

01 ガバナーメッセージ

ロータリー財団月間に寄せて



11月は「ロータリー財団月間」です。財団の始まりは1917年、アーチ・クランフRI会長が「世界でよいことをするための基金を設けよう」と提唱したことにさかのぼります。最初に寄せられた寄付は、わずか26ドル50セント。この小さな一歩が、100年余りを経た今日、世界中で数えきれないほどの人々の暮らしを変える大きな力へと育ちました。一人ひとりの善意は決して小さくない。財団の歴史は、そのことを私たちに教えてくれます。

今日、財団は七つの重点分野――平和の構築、疾病との闘い、水と衛生、母子の健康、基本的教育と識字率向上、地域経済の発展、そして環境の保全――を通じて、世界各地の課題に取り組んでいます。なかでもポリオ根絶は、40年近くにわたりロータリーが先頭に立って進めてきた事業です。野生株ポリオの常在国は残りわずかとなりましたが、「あと一歩」が最も難しい。ここで手を緩めれば、これまでの努力は水泡に帰します。私たちの世代で終わらせる。その決意を改めて共有したいと思います。

ここで、皆様にお伝えしたいことがあります。財団への寄付は、遠い世界へ送り出したきり戻らないお金ではありません。年次基金への寄付はシェアシステムによって運用され、3年後にその半分が地区財団活動資金として地区に戻ってまいります。それが地区補助金となって私たちの足元の地域を支え、またグローバル補助金として世界の課題解決に活かされる。つまり財団とは、地域への奉仕と世界への奉仕を同じ一本の線でつなぐ仕組みなのです。

各クラブにおかれましては、例会での卓話や補助金事業のご報告などを通じて、財団を「自分ごと」として語り合う機会をぜひお持ちいただければ幸いです。

財団への寄付は支出ではなく、未来への投資です。今月が、皆様にとって財団の意義を見つめ直す一か月となりますことを願っております。

国際ロータリー第2550地区
ガバナー　髙橋　智純（西那須野ロータリークラブ）

持続可能なインパクトを生み出そう

02 RLIパートⅠ　開催報告

26年度RLIパートⅠ実施報告について

RLI委員会ファシリテーター委員長
福富　正浩

2026年9月27日にニューイタヤにて、ロータリー・リーダーシップ研究会(RLI)パートⅠの研修会が行われ、今回2550地区のメンバー28名に参加していただきました。RLIは基本的にパートⅠからパートⅢまであり、今年度、第一回目としてパートⅠを行いました。今後、パートⅡを10月25日に行い、パートⅢを11月29日に開催する予定であります。そして、パートⅠからパートⅢまでの卒業生を対象に卒後コースまで、今年度中に行えればいいかと思っております。

今回のパートⅠは、50分で一つのテーマをディスカッションしていただき、一日で6つのテーマを学習していただくので、一日6時間授業となります。皆さん、学生の時には、一日で6時間受けていたかもしれませんが、卒業してからは、なかなか、丸一日かけて6時間授業を受けることはないのではと思います。そこでも、皆さん頑張って活発な意見交換ができていました。

本来RLIは、研修を行うことにより知識を得、また、他クラブの人たちとディスカッションを行うことにより、他のクラブでは、どのようなことを行っているのかを参考にでき、結果として各自が自クラブに戻り、その得た知識を使ってもらい、クラブを活性化することが目的となっております。

本日、まず最初のパートⅠを行ったわけですが、是非、皆様には、パートⅠからパートⅢまで受講終了し、卒後コースまで、研修を受けていただければ、ありがたいと思っております。また、RLIはパートⅠから順番に受ける必要がありません。今回、パートⅠからパートⅢまで、受講された卒業生は6名いらっしゃいました。RLIのディスカッションの方法としましては、講義形式ではなく、ファシリテーター(進行役)が各人に質問を投げかけ、それを答える形式で行います。そこでは、他のクラブの方々がおりますので、各クラブの違った運営の仕方を聞き、新しい発見をすることは、とても良い参考になると思いますし、一日受講すれば、たくさんのクラブの内容を聞くことになるわけですから、とても有意義な研修になっていると思います。今回も、皆様が、他クラブの内容を聞いて有意義な情報を自クラブに持ち帰りクラブの活性化ができることと信じています。

今回、参加していただいた方におかれましては、一日研修を受けていただきまして、ありがとうございました。また、是非とも、まだ受講されていないメンバーの皆様には、RLI研修に積極的に参加していただくことをお願いし、同時に我々と一緒にファシリテーター(進行役)にも興味を持っていただけるとありがたいです。よろしくお願いいたします。


ガバナー挨拶



委員長挨拶


受講の様子


受講の様子


今回で卒業される方々との記念撮影

持続可能な
インパクトを
生み出そう

03 地区クラブ 活性化セミナー　開催報告

地区会員組織委員会
委員 山口　雄子
（宇都宮陽東RC）

「人がつながり、クラブが生き返る物語」
今年のクラブ活性化セミナーは、2024-27年度国際ロータリー会員増強委員会委員でもある茅ヶ崎ロータリークラブ　岩澤あゆみ氏を招いて行われました。



セミナーの始まりは、中谷RI理事のビデオレター。現在の2550地区が抱える問題点の共有と行動することの重要性を説く力強い言葉が届けられました。
そしてバトンを渡されたかのように、岩澤あゆみ氏の基調講演が行われました。
数々の経験から生まれた具体的なクラブ内の物語。漫画的画面を効果的に使い、物語が視覚的にも印象に残るよう工夫されていました。語られる言葉は、やはり力強く、そして私たちが普段抱えるクラブ内の違和感や不安の核心をつくものでした。ただ現状を嘆き迷うのではなく、解決に向けて踏み出す小さな一歩について、多くの例を交えてお話しいただきました。何より経験に裏付けされた岩澤氏の言葉は、解決策も具体的で心に残るものでした。会場には多くの女性も出席していましたが「女性会員という会員はいない。一人一人の名前を持った会員」という言葉には皆が大きく頷いていました。また「ただロータリーに入る？では誰も入らない。あなただから入って欲しいという思いが必要」という、会員増強の為の重要なアドバイスもいただきました。まさしく、これからのクラブを生き返らせるアイデアが詰まった素晴らしい講演でした。



セミナーは更に続き、岩澤氏と大矢ガバナーエレクト、そして渡邉ガバナーノミニー、クラブ奉仕委員会からは橋本委員長と小花委員とが参加したパネルディスカッションが開催されました。これからガバナーとなって地区を率いるお二人の新たな一面、朗らかで楽しい人柄が現れる、笑顔の時間となりました。
これは、橋本委員長の「ロータリーを楽しむ」という思いが詰まった企画でした。今回参加した会員の皆さんが、次年度、次々年度のガバナーに親近感を感じ、共に行動することを楽しむこと。楽しさは伝播して、新たな仲間へとつながります。そんな風に、前向きな行動力で仲間を増やしていくことがクラブ奉仕委員会の大きな目標だと考えています。





これからも、クラブ奉仕委員会では「ロータリーを楽しむ」様々なアプローチを、そしてそれを新たな仲間に届けるお手伝い行っていこうと思います。

2026年8月22日（土）ベルヴィ宇都宮にて

トップページへ
戻ります

持続可能なインパクトを生み出そう

04 ガバナー公式訪問報告

9/9(水) 黒磯ロータリークラブ

会長：鈴木　隆子
幹事：村山　　茂

令和8年9月9日（水）髙橋智純ガバナーをお迎えして、JR黒磯駅前の割烹石山にて公式訪問が行われました。新年度開始後2か月余りということで、「事前報告書」、「現況報告書」の作成等事務作業に追われましたが、ガバナー事務所の絶大なご支援もいただき、黒磯クラブ一同力を合わせて準備してまいりました。


懇談会

【懇談会】

午前11時から髙橋智純ガバナー、吉成仁見第1グループガバナー補佐、澤田次郎、渡辺　渉（西那須野ロータリークラブ）随行員、そして、黒磯クラブ 会長 鈴木隆子、副会長 井出　法、幹事 村山　茂にて懇談会が行われました。

懇談会は事前報告書及び現況報告書に基づき、鈴木隆子会長より黒磯クラブの奉仕活動、例会や炉辺会議等のクラブ運営について説明を行いました。奉仕活動では那須塩原市小学校対抗駅伝大会支援、足尾の植樹、黒磯高等学校インターアクト支援、地区補助金活用による地域支援、各種ボランティア団体活動資金支援等。

クラブ運営については、会員増強：純増3名の達成、例会活性化のための夜間例会の開催（11回）、職場訪問の実施（那須塩原市消防署、資生堂大田原、深山ダム発電所など）、趣味の愛好会活動支援等具体的に楽しいクラブづくりを中心にお話をさせていただきました。

これに対し髙橋智純ガバナーより示唆に富む様々なご助言等を頂戴いたしました。

【卓話】

午後12時10分懇談会終了後、黒磯クラブ例会場に移動しご講演をいただきました。

・会員増強：過去の最高実績を超える増強を目指そう
・新しいクラブを設立しよう
・現在そして未来の会員にとって魅力的なクラブをつくろう

などのお話をいただき、ロータリーの力は「仲間と共に地域や社会のために行動できること、そして、活動を通して自分自身も成長できることにある。」とのご教示をいただきました。

黒磯クラブ一同、改めてロータリーの価値、素晴らしさを確認した公式訪問となりました。



集合写真

持続可能なインパクトを生み出そう

04 ガバナー公式訪問報告

9/10(木) 鹿沼ロータリークラブ

会長：大貫　定之
幹事：藤田　真澄

9月10日、鹿沼ロータリークラブに国際ロータリー第2550地区ガバナー 髙橋智純様をお迎えし、ガバナー公式訪問例会が開催されました。当日は、第2550地区会計長 小出文雄様、西那須野ロータリークラブ 池嶋英哲様にもご随行いただきました。例会前の会長幹事懇談会では、当クラブの会員増強やクラブ活動について意見交換が行われました。また、野球部やゴルフ部の活発な活動、特に地区ゴルフ選手権での団体優勝についてもお褒めの言葉をいただきました。



例会では、2026－27年度RI会長 オラインカ・ハキーム・ババロラ氏のメッセージビデオを拝聴した後、髙橋ガバナーより、RI会長メッセージ「持続可能なインパクトを生み出そう」を踏まえ、地区方針ならびに重点取組事項についてお話をいただきました。



髙橋ガバナーは、本年度の「インパクト」として、「これまでの実績を超える会員増強」「新たな時代を切り拓く斬新なクラブの設立」「伝統の継承にとどまらない革新」の三つを掲げられています。それぞれのクラブが現状を見つめ直し、これまでの形式やモデルに固執せず、新たな一歩を踏み出すことの大切さをお話しいただきました。

また、自己紹介では、かつて修行をされたお寺に、日本のロータリーの祖である米山梅吉氏のお墓があり、現在も毎年参拝されているとのお話があり、ロータリーとの深いご縁を感じる印象的なエピソードでした。



今回の公式訪問は、大貫会長が掲げる「基本に立ち返り、主体的に行動するクラブへ」という本年度の方針のもと、私たちがこれからどのような「インパクト」を生み出していくのかを改めて考える、大変有意義な機会となりました。

トップページへ戻ります

持続可能なインパクトを生み出そう

04 ガバナー公式訪問報告

9/24㈭ 足利わたらせロータリークラブ

会長：倉林　宏
幹事：新保　卓也

2026年9月24日、髙橋智純ガバナーをお迎えし、ガバナー公式訪問例会を開催いたしました。
例会に先立ち、髙橋智純ガバナー、栗原順一ガバナー補佐、倉林宏会長、幹事の4名による懇談会が行われました。懇談会では、当クラブの活動状況や今年度の方針について報告するとともに、特に力を入れている社会奉仕・青少年奉仕を中心に意見交換を行いました。

社会奉仕については、泗水学園納涼祭支援事業、足利市花火大会翌朝清掃、徳蔵寺ピンポン大会支援事業、泗水学園餅つき大会支援事業、泗水学園児童招待事業「JAXA筑波宇宙センターと大洗水族館」など、地域社会のニーズに応える継続的な奉仕活動について説明いたしました。特に泗水学園とは、納涼祭や餅つき大会、児童招待事業などを通じ、長年にわたり子どもたちとの交流と支援を続けています。
また、青少年奉仕では、「わたらせ杯」や「サッカーフェスティバル」など、スポーツを通じた青少年の健全育成と地域交流への取り組みについて報告いたしました。

さらに倉林会長より、本年度の奉仕プロジェクトの一環として重点的に取り組んでいるポリオ根絶活動について説明いたしました。当クラブではエコキャップ回収事業を推進し、約800個のエコキャップ回収がワクチン1本分につながる取り組みとして、会員や地域の皆様へ協力を呼びかけています。
あわせて、エコキャップを回収するだけでなく、ポリオ根絶への理解を広げる啓発活動にも力を入れています。各奉仕活動の際には、会員がポリオ根絶を呼びかけるTシャツを着用し、のぼりやポスターを掲示するなど、地域の皆様にロータリーのポリオ根絶活動を知っていただく取り組みを進めていることを報告いたしました。

公式訪問例会では、髙橋ガバナーより、2026-27年度RI会長メッセージ「持続可能なインパクトを生み出そう」についてお話をいただきました。また、地区方針「奉仕を通してロータリーを楽しもう！」について、ご自身のロータリー歴や宗教者としての経験、お釈迦様の教えなどを交えながら、ロータリー活動にも通じる考え方をご紹介いただきました。

卓話の中では、人生における「師」「教え」「友」の大切さ、そして「例会は人生の道場である」という米山梅吉翁の言葉が紹介されました。例会や奉仕活動を通じて人と出会い、学び、友情を育むことの大切さを改めて考える機会となりました。

今回の公式訪問を通じて、当クラブがこれまで継続してきた地域奉仕・青少年奉仕の意義を改めて確認するとともに、今後のクラブ活動について考える大変有意義な機会となりました。髙橋ガバナーからいただいたお話やご助言を今後のクラブ運営に生かし、地域に根差した奉仕を継続するとともに、会員一人ひとりが奉仕を通してロータリーを楽しみ、持続可能なインパクトを生み出せるクラブを目指してまいります。



最後に、今回の髙橋智純ガバナー公式訪問に際し、ご尽力いただきました国際ロータリー第2550地区ガバナー事務所ならびに関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

持続可能なインパクトを生み出そう

04 ガバナー公式訪問報告

9/29㈫ 宇都宮ロータリークラブ

会長：田嶋　久登志
幹事：新井　将能



9月29日、宇都宮ロータリークラブに髙橋智純ガバナーをお迎えし、ガバナー公式訪問例会を開催しました。例会では、ロータリーの目的や重要性、今後の目指す方向性とクラブ活動への期待について卓話をいただきました。

髙橋ガバナーからは、住職を務められる曹洞宗「宗源寺」の歴史や活動をご紹介いただきました。地域とのつながりを大切にされているお話から、ロータリーにおいても、会員相互の理解と協力が奉仕活動を前進させる力になることを再認識しました。

続いて、本年1月に米国フロリダ州オーランドで開催された国際協議会での研修や、世界各国から集まったガバナーエレクトとの交流を踏まえ、2026－27年度RI会長オラインカ・ハキーム・ババロラ氏が掲げるメッセージ「持続可能なインパクトを生み出そう」についてご説明いただきました。奉仕を単発的な活動に終わらせず、地域社会や会員自身に継続的な良い変化をもたらすことが重要であり、「自分自身が変わればクラブが変わり、クラブが変われば地区や地域社会も変わる」とのお話が強く印象に残りました。

また、第2550地区の重点方針として、「これまでの実績を超える会員増強」「新たな時代を切り拓く斬新なクラブ設立」「伝統の継承にとどまらない革新」という三つの柱が示されました。若い世代や多様な背景・価値観を持つ方々を温かく迎え、誰もが安心して自由に発言し、参加と成長の喜びを感じられるクラブづくりが重要であるとのご示唆をいただきました。さらに、パスポートクラブや分野特化型クラブ、法人クラブ、衛星クラブなど、従来の形式にとらわれない新たなクラブの在り方も紹介されました。



田嶋会長からは、当クラブの会員数が現在99名であること、さらなる会員増強を今年度の重要な取組とすること、夜間例会で衛星クラブについて学び、検討を進める方針が示されました。先輩会員が築いてきた歴史と伝統を継承しながら、時代に即した新たな事業や奉仕活動にも挑戦し、地域社会に持続可能なインパクトを生み出していく決意を新たにする、大変有意義な公式訪問となりました。

トップページへ戻ります

持続可能な
インパクトを
生み出そう

Rotary

04 ガバナー公式訪問報告

10/8㈭ 日光ロータリークラブ

会長：三ツ山　一明
幹事：岸野　稔

10月8日（木）日光金谷ホテルにおいて、髙橋智純ガバナー、黒田雄一ガバナー補佐、ガバナー随行者2名をお迎えして、ガバナー公式訪問が行われました。

11時から会長・幹事懇談会を行いました。クラブ会長・幹事事前報告書、及び2週間前に開催した黒田雄一ガバナー補佐訪問協議会の報告を基に、当クラブの現況について意見交換を行いました。当クラブの会員数は17名（女性3名）でここ数年減少傾向にあります。また、会員の高齢化も問題になっています。人口減少が続く日光地区において、会員増強の難しさをお伝えし、その対策としていろいろなアドバイスをいただきました。会員を増やすだけではなく、現会員を減らさないための工夫、女性会員を積極的に勧誘してはどうか、また、言葉だけの勧誘ではなく、候補者をゲストとして例会に参加していただき、ロータリーとはどのような事をやっているのかを体験してもらうことも良いのではないか、等々大変参考になりました。



会長・幹事会



ガバナー卓話

例会場の日光金谷ホテルは、現存する西洋式ホテルでは日本一古い歴史あるホテルで、建物・サービス・料理すべてが日本を代表するホテルです。例会では特製のランチ・コース料理を堪能していただきました。

卓話でオラインカ・ハキーム・ババロラＲＩ会長の動画をプロジェクターで拝聴し、ガバナーからもＲＩ会長メッセージ「「ＣＲＥＡＴＥ　ＬＡＳＴＩＮＧ　ＩＭＰＡＣＴ」「持続可能なインパクトを生み出そう」を説明していただきました。ＲＩ会長メッセージ及びガバナーが掲げる「地区目標と方針」を肝に銘じクラブ運営を行います。

終始和やかな雰囲気で進行し、大変有意義な公式訪問でした。



集合写真

持続可能なインパクトを生み出そう

05 奉仕プロジェクト報告 〈鹿沼ロータリークラブ〉

鹿沼ロータリークラブ青少年奉仕委員会にて盲導犬体験教室を開催

藤田　真澄（鹿沼RC）

10月15日、鹿沼市立加園小学校の体育館で盲導犬体験教室を開催しました。

教室では、目の不自由な人の見え方や、日常生活で感じる不便について学びました。

また、盲導犬が利用者を安全に誘導する役割や、盲導犬に出会ったときの接し方についても説明を受けました。

当日は実際に盲導犬が参加し、児童たちが、その誘導を体験することで、視覚に障がいのある人の立場を考え、相手を理解し、思いやりを持って行動することの大切さを感じる機会となったのではないでしょうか。



講義の様子



会長の挨拶







体験

トップページへ戻ります

持続可能なインパクトを生み出そう

06 奉仕プロジェクト報告 〈宇都宮ロータリークラブ〉

宇都宮ロータリークラブ　本年度実施の奉仕プロジェクト報告

茨木　亮吉（宇都宮RC）

宇都宮ロータリークラブでは、本年度のテーマである「Do It Together！（ともにやろう！）」のもと、会員同士のつながりを大切にしながら、地域社会への奉仕活動に取り組んでいます。

本年度は、ポリオ根絶募金活動やフードバンク支援、子ども食堂支援を継続するとともに、文星芸術大学付属高等学校ならびに宇都宮女子高等学校 白百合インターアクトクラブとの交流やチャリティバザーへの協力など、青少年育成と地域貢献活動を推進しています。

こうした活動の原動力となっているのが、テーブルミーティング、単身赴任の会、親睦ゴルフコンペ、クラブフォーラム後の懇親会などの親睦活動です。また、クリスマス例会でのチャリティや新年会例会での会員参加型企画、毎月の快出席や誕生日・結婚記念日のお祝いを通じて、参加したくなるクラブづくりを進めています。

会長方針にもあるように、仲間と共に行動することでロータリーの価値は高まります。 これからも「まずやってみる」「やって良かったを増やす」の精神で、魅力あるクラブ運営と地域へのインパクト創出に取り組んでまいります。



ゴルフ例会



夜間例会：懇親会



夜間例会：輪になって歌う様子

持続可能なインパクトを生み出そう

Rotary

07 新入会員紹介



足利東 RC

(有)マサモト塗装工業
代表取締役 政本 崇寛（まさもと たかひろ）

2026.8.18入会

皆様と交流しながら一緒に活動できることを楽しみにしてます。



足利東 RC

ササキ防災(株)
代表取締役 佐々木 康治（ささき こうじ）

2026.8.18入会

少しでも早くクラブに慣れクラブのお役にたてればと思います。



足利東 RC

(株)ウォール・コア
代表取締役 前島 彦信（まえしま ひこのぶ）

2026.8.25入会

地域社会への奉仕を通じ皆様と共に貢献して参ります。宜しくお願いします。



足利東 RC

城戸運送(有)
常務取締役 城戸 甚一（きど じんいち）

2026.8.25入会

愛媛より足利に進出しました。会を通じて地域に貢献できるよう励みます。



足利東 RC

醍醐興業(有)
専務取締役 植木 貴嗣（うえき たかつぐ）

2026.8.25入会

諸先輩方からロータリーの精神を学び、社会に貢献できるよう励みます。



足利東 RC

(株)中家組
代表取締役 中家 二郎（なかいえ じろう）

2026.8.25入会

微力ながら頑張ります!



大田原 RC

セグロラ化粧品
代表取締役 大島 道子（おおしま みちこ）

2026.10.1入会

皆様、どうぞよろしくお願いします。

トップページへ戻ります

08 お知らせ

2026年7月28日発生　熊本地震支援金御礼および送金報告

皆様にお願いいたしました「熊本地震支援金」ですが、
地区内41クラブより（1,742,000円）及び地区米山学友より（58,000円）
合計180万円が集まり、本日　熊本地震災害支援本部へ送金いたしました。
皆様のご協力に感謝申し上げます。

ガバナー　髙橋　智純

地区内・外 主要行事予定 ▶ 地区ホームページへ

送金カレンダー ▶ 地区ホームページへ

クラブ定例報告カレンダー ▶ 地区ホームページへ

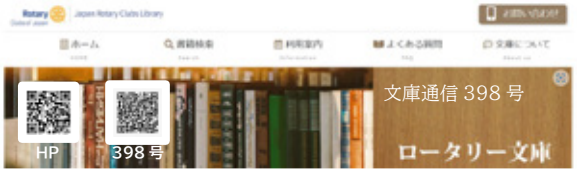
例会場/事務所一覧 ▶ 地区ホームページへ

地区組織図 ▶ 地区ホームページへ

ガバナー公式訪問日程表～お願い～ ▶ 地区ホームページへ

（公財）ロータリー米山記念奨学会ニュース ▶「ハイライトよねやま」へ

文庫通信 ▶ ロータリー文庫へ



文庫通信　398 号：過去に学び未来を探る

「ロータリアン必携 来し方行く末 過去に学び未来を探る」塚原勇樹/編纂委員会/2022/407P
「和敬静寂 思いやりの心」細谷伸夫/2026/266P
「会長代理挨拶」若林英博/（D.2590 地区大会）/2025/4P
「戦後 80 年特別シンポジウム「平和の未来を語る」：千玄室氏コメント抜粋」（D.2740 地区大会）/2024/2P
「原爆から生き残る（付：THE ROTARIAN 2018 年 1 月号掲載文）」
川妻二郎（東京米山友愛 RC 翻訳/THE ROTARIAN 2018 年 1 月号/2022/46P
「今、ロータリーを考える」刀根荘兵衛/（D.2600 地区大会）/2024/5P
「ロータリーの力」滝澤功治/（D.2680 地区大会）/2022/2P
「ロータリーって一体何だろう。その源流と行く末」　太田英章/（D.2670 地区大会）/2021/10P

PDFの閲覧には「ユーザー名」「パスワード」が必要です。ご不明の場合は、各事務所またはロータリー文庫にお問い合わせください。

〒105-0013 東京都港区浜松町2丁目７番16号 第３小森谷ビル別館６階
TEL:03(3433)6456、FAX:03(3459)7506

09 2026年9月末会員数報告

MyRotaryより（アルファベット順）

クラブ名	2026年7月1日 会員数	2026年7月1日 女性会員数	2026年9月30日 会員数
足利	24	2	24
足利東	38	4	48
足利わたらせ	33	1	35
足利西	11	0	11
馬頭小川	17	0	17
今市	41	0	41
今市きぬ	24	0	23
岩舟	8	0	9
鹿沼	62	2	62
鹿沼東	44	7	44
烏山	13	2	13
黒磯	33	3	33
葛生	38	0	39
益子	27	3	27
壬生	15	1	15
真岡	44	1	43
真岡西	34	4	36
日光	17	3	17
西那須野	39	3	40
大田原	18	2	18
大田原中央	18	1	19
小山	21	1	21
小山中央	24	2	24
小山東	16	0	19
小山北	24	0	24
小山南	16	2	16
佐野	52	1	52
佐野東	19	1	19
下野上三川	19	3	19
高根沢	10	0	10
田沼	43	0	44
栃木	43	6	43
栃木南	35	8	35
栃木西	28	0	28
氏家	32	4	32
宇都宮	91	6	91
宇都宮90	39	6	39
宇都宮東	95	0	95
宇都宮北	46	0	46
宇都宮さつき	17	3	17
宇都宮南	54	7	57
宇都宮西	67	0	67
宇都宮陽北	61	7	61
宇都宮陽南	19	5	19
宇都宮陽東	43	8	43
45RC	1512	109	1535
<RAC>			
足利東	4		4
足利大学	27		27
蔵の街とちぎ	15		15
作新学院大学	11		11
宇都宮東	5		5
文星芸術大学	13		13
国際医療福祉大学	9		9
7RAC	84		84

留意事項：データの更新は、RIが受領してからレポートに反映されるまで6～7日程かかる場合があります。

トップページへ
戻ります

持続可能なインパクトを生み出そう

10 地区大会のお知らせ

11/13(金) **記念ゴルフ大会** □会場／塩原カントリークラブ

11/21(土) □会場／乃木温泉ホテル

◉会長・幹事会

13：00 受付・登録開始
13：30 RI会長代理ご入場
開会・点鐘
国歌並びにロータリーソング斉唱
13：35 開会の言葉
RI会長代理並びに地区役員紹介
13：50 ガバナー挨拶
14：00 RI会長代理挨拶　RI会長代理　ハッサン アクバイラク
RI 第2420地区 FINDIKLI(フンドゥクル)RC(トルコ)
14：10 地区会計収支報告
監査報告
承認
14：20 2025年―2026年度各種表彰
15：05 閉会

〈休憩〉「友愛コーナー」

◉地区指導者育成セミナー

15：20 開会
ガバナー挨拶
地区ラーニングファシリテーター挨拶
15：30 講演　RI会長代理　ハッサン アクバイラク
「一過性の善意を持続可能なインパクトへ」
15：50 講演　第一地域RMC　田中　久夫
「クラブ活性化と会員増強」
16：50 質疑応答
謝辞
17：00 閉会・点鐘

◉RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

17：00 受付・登録開始
17：30 開会の言葉
17：32 オープニングコンサート
17：50 歓迎の言葉
ご来賓紹介
ガバナー挨拶
RI会長代理挨拶
RI会長代理令夫人挨拶
18：10 乾杯
◇ 祝 宴 ◇
19：55 手に手つないで
20：00 閉会の言葉

【会　場　案　内】

◉記念ゴルフ大会 11月13日(金)

会　場／塩原カントリークラブ
〒329-2804 栃木県那須塩原市折戸148
TEL.0287-35-2211　FAX.0287-35-3503

◉会長・幹事会／地区指導者育成セミナー／RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会 11月21日(土)

会　場／乃木温泉ホテル
〒329-2712 栃木県那須塩原市下永田1-993-11
TEL.0287-37-4126 FAX.0287-35-5508

◉地区大会 本会議 11月22日(日)

会　場／那須野が原ハーモニーホール
〒324-0041 栃木県大田原市本町1-2703-6
TEL.0287-24-0880 FAX.0287-24-1611



乃木温泉ホテル　　那須野が原ハーモニーホール

【Google MAP】
QRコードを読み取って場所をご確認いただきお越しください。

持続可能なインパクトを生み出そう

10 地区大会のお知らせ

11/22(日) □会場／那須野が原ハーモニーホール　RI会長代理／ハッサン アクバイラク RI 第2420地区 FINDIKLI(フンドゥクル)RC(トルコ)

●米山の集い
9：30 開会の言葉
9：35 歓迎の言葉
9：40 ガバナー挨拶並びに来賓紹介
9：45 特別講話
9：50 趣旨説明
9：55 オープニング
10：05 第2550地区米山学友の歩み
10：20 米山文集「集い」紹介
10：30 パネルディスカッション
「絆」－違いを認め合い、理解し合い、未来へつなぐ
11：00 みんなで語ろう！
手に手つないで
11：30 総評
11：35 閉会の言葉
11：40 集合写真撮影

◉地区大会 本会議

12：20 受付・登録開始
12：55 RI会長代理ご入場
13：00 開会・点鐘
13：10 国歌並びにロータリーソング斉唱
物故者に対し黙祷
開会の言葉
13：15 歓迎の言葉
RI会長代理紹介
13：25 ご来賓・地区外ロータリアン紹介
ガバナー挨拶並びに地区現況報告
13：35 RI会長代理挨拶並びにRI現況報告
14：00 大会委員会報告並びに上限
登録委員会
資格審査委員会
決議委員会
大会決議案採択
選挙管理委員会
14：15 来賓祝辞
栃木県知事　福田　富一　様
那須塩原市長　渡辺美知太郎　様
14：25 記念事業目録贈呈
14：30 祝電披露
〈休憩〉「友愛コーナー」
14：45 パイプオルガン演奏
ベルギー出身
ジャン＝フィリップ・メルカールト
15：05 特別参加者紹介
青少年奉仕
RYLA・インターアクトクラブ
青少年交換学生
ロータリー財団学友会紹介
米山学友・奨学生紹介
15：45 記念講演
佐粧　博史（サショウ　ハクシ）
演題「つながりに生きる」
謝辞・花束贈呈
16：35 各種表彰
ロータリー奉仕部門賞・
財団大口寄付者表彰・クラブ優秀賞
ガバナー賞・会員増強優秀賞
地区功労賞・財団地区功労賞
記念ゴルフ大会表彰
16：55 ガバナー補佐紹介
地区内参加クラブ紹介
17：05 記念品贈呈
RI会長代理ご夫妻
直前ガバナー・地区幹事・
直前会計長
17：10 ガバナーエレクト・
ガバナーノミニー紹介
ガバナーエレクト挨拶
ガバナーノミニー挨拶
次期地区大会開催
ホストクラブ代表挨拶
17：25 RI会長代理所感
ガバナー謝辞
閉会の言葉
17：35 閉会の点鐘

●アフターパーティー
17：50 開会の言葉
乾杯
歓談
18：50 中締め



記念講演 講師
佐　粧　博　史（サショウヒロフミ　僧名 サショウハクシ）
出　　身：千葉県鴨川市
生年月日：1980年4月11日
職　　業：宗教者（宗派：曹洞宗ソウトウシュウ　僧侶）
肩　　書：曹洞宗関東管区教化センター主監
長興院（チョウコウイン）副住職

【職歴】
千葉県にある曹洞宗寺院にて育ち20代は映像制作会社に勤務し、その後30歳を機に僧侶修行へ。現在は曹洞宗関東管区教化センターに所属。曹洞宗関東管区教化センターとは、関東地区における曹洞宗宗派の布教教化・広報等を担当する団体である。曹洞宗宗派の広報担当を担い、寺院の副住職も務めている。

トップページへ戻ります